

令和5年度 春季東京都高等学校野球大会

一次予選 1回戦

2023年3月12日(日)

会場校 堀越		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 10:01	浅草・科学技術・深川	2	0	0	0	0	0	0	0	0							2
ゲームセット 11:51	井草・桜修館・大泉・田柄	0	0	0	0	0	2	0	3	X							5

先攻	浅草・科学技術・深川	後攻	井草・桜修館・大泉・田柄	備考
投手		投手	千葉	【一回戦】
捕手		捕手	出石	
本塁打		本塁打	櫻井	
三塁打		三塁打		
二塁打		二塁打	千葉	

初回、田柄連合チームは先頭打者にヒットを許すと、ランナーをパスボールで進塁させてしまう。

その後、2本の連続ヒットを浴び、2点を先制される。

2回以降、毎回無得点が続き、相手に主導権を渡していたものの5回にはレフト新内（田柄）の好プレーとエース千葉（桜修館）のけん制でテンポよく守りきり、チャンスを伺う。



終盤のピンチで伝令を送った
田柄高 大野 啓司

好守直後の6回、3番千葉（桜修館）のレフト前タイムリーヒットで1点差に迫ると、5番出石（桜修館）もライト前タイムリーで続いて同点となり、振り出しに戻す。

試合が決まったのは、8回。2アウト2・3塁から、7番櫻井（桜修館）がセンターオーバーのランニングスリーランホームランを放ち、一挙に3点差をつけて試合を決定づける。

結果、3点リードの最終回もきっちりと抑え、連合チームながらも田柄高校が2009年春季大会以来、14年ぶりとなる歴史的な勝利をおさめた。

なお、田柄高校は新内が2安打と好守で勝利に大きく貢献し、サブキャッチャー大野啓司とマネージャーの平子聖奈が、的確なベンチワークでレギュラー選手を支える活躍を見せた。



2安打と好守で活躍した
田柄高 新内 一之介

<部員よりご挨拶>

おかげさまで、14年ぶりの公式戦勝利を飾ることができました。最初は喜び方もわかりませんでしたが、時間が経って「勝ったんだな」と実感が湧いてきました。次戦も頑張りたいと思いますので応援、よろしくお願い致します。